

3グループ 身寄りはあるけど、いっさやらない(何もしてくれない)というケース

- がん
- 入院時・退院時の対応を考える
- 財産がある場合と財産がない(借金もある)場合

	入院時の対応	入院中に	退院時の対応
	ケアマネの立場として ・現在の情報を提供し、財産の状態を伝える ・財産は欲しいけど・・・という家族が出てきた 何もやらない、口は出す、勝手に手続きをする		施設を考える → 後見人、家族、包括、ケアマネ
財産あり	→ケアマネや包括にて財力を確認→電話で確認(記録) ・治療方針の決定 ・治療方針の決定入院時の病院の紹介先をどう決定するか？ 財産がある場合は問題なしか？ ・支払いに関する決定を書面化する ・担当ケアマネ、包括などから連絡先をあたる ・入院時身寄りの確認 ・入院時病院までの付き添い(タクシーで自費)	・併用薬の確認 ・代行で介護保険申請実施 ・何もしてくれない家族にひたすら電話して処置の確認 ・在宅での生活管理	がん 時間がない 悪化し、意思決定が落ちた場合 ・病院から親族へ連絡を取る ・ヘルパーは退院時自宅までの付き添いのみ(タクシー自費) ・退院後の薬の手配、方法 ・退院後の生活場所の確保 ・急変時の対応 ・在宅で診療する場合は、多職種で助け合って？ ・今後の決定に関し、書面化する ・ケアマネがいるか確認
	→ 生活保護を希望→申請(ソーシャルワーカー) ・治療方針の決定 ・治療方針の決定治療費の対応 ・紹介先の病院で対応してもらえるか？ ・意思、支払いの決定者の選択→退院時の決定困難にあたり ・本人の意思確認の上、生活保護申請 ・ケアマネの立場として、家族に現在持っている情報を伝える 入院したこと(病院名)		財産なし プラス 頑固だと、一旦自宅に戻り施設を考える 生活保護になれない→家に帰るしかない ・意思・支払い決定者として、ケアマネ等担当者へ連絡 ・退院後は在宅にする場合にも行政に相談？ ・後見人をどこでお願いするか？ ・急変時の対応